

公立小中学校教員の時間外業務内容がメンタルヘルスに与える影響

近年、公立小中学校教員の精神疾患による長期病休や欠勤が教育業務を遂行する上で大きな問題となっている。教員のストレスと関連している因子は複数報告されているが、なかでも時間外労働（長時間労働）はストレスと強い関連を持つことが示されている。

時間外労働の削減のためには、教員の業務を適切に分類し、それぞれの業務のメンタルヘルスへの影響を評価した上で、削減のための介入を行う必要がある。しかし、これまでの研究では、すべての業務を含む時間外労働の長さでメンタルヘルスについて検討したものが多く、教員の様々な業務の有無や各業務ごとの時間外労働の長さでメンタルヘルスとの関連を検討したものは少ない。そのため、本研究では時間外労働の中での各業務の有無とストレスとの関連を検討する。

データは岐阜県の公立小中学校教員を対象とした横断研究のデータを利用する。データは2種類存在し、どちらも自記式の質問票を用いて取得された。1種類は対象者の性別や年齢、勤務校の情報など個人背景についての質問票であり、もう1種類はBJSQ(Brief Job Stress Questionnaire: 職業性ストレス簡易調査票)であった。BJSQの心理的ストレス反応に対応する質問項目の点数の合計をアウトカムとし、時間外労働の業務内容との関連について検討する。また、教員個人の能力やモチベーション、健康状態などの未測定交絡が存在するため、E-valueを用いた未測定交絡に対する定量的な感度分析を行う。

本抄読会ではまず対象者の属性を確認し、次にBJSQの心理的ストレス反応のスコアをアウトカム、各業務(10種類)の有無を曝露、年齢や性別などを共変量とした上での重回帰分析の結果を示す。その後アウトカムと有意に関連していた曝露に対し関連の頑強性を確認するために行った、E-valueを用いた感度分析の結果を示す。

参考文献

- [1] 文部科学省 令和元年度公立学校教職員の人事行政状況調査
- [2] Furihata R, Kuwabara M, Oba K, Watanabe K (2021) K Association between working overtime and psychological stress reactions in elementary and junior high school teachers in Japan: A large-scale cross-sectional study. in press.
- [3] 神林寿幸 (2017) 公立小・中学校教員の業務負担 16-19
- [4] Peng Ding and Tyler J. VanderWeele (2016) Sensitivity Analysis Without Assumptions. *Epidemiology* 27(3):368-77